



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年11月5日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ハウス オブ ローゼ
コード番号 7506 URL <http://www.houseofrose.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 神野 晴年

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 桑野 純也

TEL 03-5114-5800

四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日

配当支払開始予定日

平成25年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	6,982	△0.5	174	△7.5	169	△12.4	58	△34.3
25年3月期第2四半期	7,014	△0.5	188	△25.1	193	△24.3	89	△63.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
26年3月期第2四半期	12.50	—
25年3月期第2四半期	19.02	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円銭
26年3月期第2四半期	8,427		5,525		65.6	1,175.03
25年3月期	8,864		5,623		63.4	1,195.77

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 5,525百万円 25年3月期 5,623百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
25年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
26年3月期	—	20.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	14,700	2.3	550	8.6	550	7.4	270	12.0	57.41

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	4,703,063 株	25年3月期	4,703,063 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	448 株	25年3月期	448 株
----------	-------	--------	-------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	4,702,615 株	25年3月期2Q	4,702,616 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期報告書に対するレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における国内景気は緩やかながら着実に回復傾向を示し、デフレ脱却への期待感も高まってまいりました。企業収益は大企業を中心に改善し、個人消費は消費者マインドの改善に加え、雇用・所得環境が持ち直しの動きをみせる中で堅調に推移いたしました。主要百貨店では資産効果等を背景に高額品の売上げが伸びている他、旅行やサービス消費も底堅く推移いたしました。一方、円安による輸入物価の高騰や各種料金の値上げ、さらには消費増税を控え先行きは楽観視できない状況も伴っております。

(直営店商品販売事業)

当事業は、主力であるハウス オブ ローゼ直営店部門の業績向上に注力しております。そのため商品施策や販売促進策及び販売教育等の強化を通じ、スキンケア売上高の増加と共にロイヤルセブンスター様（当社の「きれいな素肌づくり」に基づく7つのステップに当社のスキンケア及びベースメイク商品をご使用いただいている顧客様）の増加を図っております。

これら一連の成果により、ロイヤルセブンスター数は期初より約1,300人増加となり、ほぼ計画通り推移いたしました。また、既存顧客売上高及びお買上単価は百貨店店舗、専門店店舗共に前年同期を上回り、さらにこのところ漸減していたスキンケア売上高も増加に転じました。しかしその反面、新規顧客数並びに新規顧客売上高が減少したため、ハウス オブ ローゼ直営店部門売上高は前年同期比1.4%の減少となりました。

その結果、当事業売上高は55億82百万円（前年同期比0.6%減）となりましたが、全体的な経費の削減効果もあり営業利益は48百万円（前年同期比30.9%増）となりました。

(直営店サービス事業)

リフレクソロジー事業は、新規顧客様の増加を図りつつ質の高い施術を心がけてきておりますが、地域によってスタッフ数が慢性的に不足する状況となっており、施術対応が困難になるケースも散見されました。この影響が客数減を招く形となり、売上高は前年同期比5.6%減少となりました。

一方カーブス事業は、5月に新店1店舗をオープンし会員数も順調に伸長しております。また既存店の会員数も着実に増加しており、新店分を含め期初より約1,100人増加となり、売上高は前年同期比10.7%の増加となりました。

その結果、当事業売上高は8億67百万円（前年同期比0.2%増）となりました。カーブスの新店にかかる初期費用負担が影響し営業利益は1億12百万円（前年同期比12.3%減）となりました。

(卸売販売事業)

ハウス オブ ローゼショップ及びコーナー向け卸売販売事業は、季節限定商品の納品が減少したことも影響し、個人オーナー向け売上高は前年同期を下回りました。量販店向け売上高は、特に地方店舗が集客減に伴い売上が伸び悩みましたが、新規取引店舗の増加により前年同期を上回りました。

その結果、当事業売上高は5億32百万円（前年同期比0.5%増）となりましたが、売上原価率の上昇及び諸経費の増加により営業利益は13百万円（前年同期比41.8%減）となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間における売上高は69億82百万円（前年同期比0.5%減）となりました。販売費及び一般管理費は経費削減に努め前年同期より減少、また売上原価率も微減しましたが、営業利益は1億74百万円（前年同期比7.5%減）、経常利益は1億69百万円（前年同期比12.4%減）、当四半期純利益は58百万円（前年同期比34.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末より4億37百万円減少し、84億27百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末より3億86百万円減少し、47億38百万円となりました。これは主に現金及び預金が1億55百万円、売掛金が1億11百万円、商品及び製品が1億6百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前事業年度末より50百万円減少し、36億88百万円となりました。これは主に差入保証金が31百万円減少したことによるものであります。

負債合計は、前事業年度末より3億39百万円減少し、29億1百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が6億40百万円減少し、電子記録債務が3億69百万円増加したことによるものであります。

純資産合計は、前事業年度末より97百万円減少し、55億25百万円となりました。これは主に利益剰余金が1億3百万円減少したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、前回発表（平成25年8月2日決算短信）に記載の業績予想に変更はありません。上記予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（退職給付に関する会計基準等の適用）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下、「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日）が平成25年4月1日以後開始する事業年度の期首から適用できることになったことに伴い、第1四半期会計期間よりこれらの会計基準等を適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、割引率を変更しました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な扱いに従って、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を当第2四半期累計期間の期首の利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期累計期間の期首の利益剰余金が67,926千円減少しております。また、これによる損益への影響は軽微であります。

2. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,277,172	2,121,727
売掛金	1,008,951	897,622
商品及び製品	1,701,783	1,595,595
その他	137,131	123,911
流動資産合計	5,125,039	4,738,856
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	440,990	432,428
土地	1,415,905	1,415,905
リース資産（純額）	74,608	64,816
有形固定資産合計	1,931,504	1,913,150
無形固定資産	217,915	209,063
投資その他の資産		
差入保証金	847,824	816,312
その他	742,202	749,956
投資その他の資産合計	1,590,026	1,566,269
固定資産合計	3,739,446	3,688,483
資産合計	8,864,485	8,427,340
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,319,654	678,879
電子記録債務	—	369,993
未払法人税等	102,496	51,754
賞与引当金	192,093	191,038
その他	496,145	498,966
流動負債合計	2,110,389	1,790,632
固定負債		
退職給付引当金	704,674	840,056
役員退職慰労引当金	151,097	39,944
その他	275,069	230,973
固定負債合計	1,130,840	1,110,973
負債合計	3,241,229	2,901,606
純資産の部		
株主資本		
資本金	934,682	934,682
資本剰余金	1,282,222	1,282,222
利益剰余金	4,379,468	4,276,277
自己株式	△428	△428
株主資本合計	6,595,943	6,492,752
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	23,429	29,098
土地再評価差額金	△996,116	△996,116
評価・換算差額等合計	△972,687	△967,018
純資産合計	5,623,256	5,525,734
負債純資産合計	8,864,485	8,427,340

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	7,014,483	6,982,582
売上原価	1,954,258	1,942,585
売上総利益	5,060,225	5,039,996
販売費及び一般管理費	4,871,962	4,865,805
営業利益	188,262	174,191
営業外収益		
受取利息	2,000	1,210
受取配当金	1,846	1,419
不動産賃貸料	800	947
その他	2,448	2,116
営業外収益合計	7,095	5,694
営業外費用		
支払利息	943	2,125
リース解約損	—	7,432
不動産賃貸原価	522	493
営業外費用合計	1,465	10,051
経常利益	193,892	169,834
特別損失		
役員退職慰労金	—	26,703
特別損失合計	—	26,703
税引前四半期純利益	193,892	143,131
法人税、住民税及び事業税	91,301	38,346
法人税等調整額	13,167	45,996
法人税等合計	104,469	84,342
四半期純利益	89,423	58,788

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。